（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	採用、教育、昇格昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制とルールを構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止を宣言し就業規則及び関連規定に明記している。また全社員に対しハラスメント研修を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	全社員は、労働基準法及び36協定に定める労働時間制を理解している。また長時間労働がないよう監視し指導、時短のための業務改善を取り組んでいる。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人雇用はない。なお現場には協力会社の外国実習生等がいる場合、人種差別をしないよう社員に教育している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	社員及び協力会社と協働して安全衛生に関する大会や講習会を開催している。また日々KY活動や安全衛生パトロールを行っている			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する自己チェックを定期的に行っている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性・高齢者・障害者等が働けるよう負荷のかかる労働環境を排除・低減するため、事務作業の情報化やトイレ等の手すり設置等をしている。【予定】女性技術社員を採用					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	施工技術・環境対応技術・労働安全向上等に関する技術などの公的資格取得支援、外部研修の受講支援など行っている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パート労働法・労働契約法等の改正趣旨及び規定を理解するため、社会保険労務士等から指導をうけ同一労働同一賃金を順守できている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	希望者する従業員に毎年、インフルエンザ予防接種と歯のクリーニングを実施じ、会社が費用を補助する。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物処理法及び発注者の要求に従い、適法な処理及び記録を行っている。また毎年排出量・種類を把握している。現場では適正分別をしてパトロールもしている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	当社のエネルギー使用量（電気・ガソリン・軽油等）を把握・集計している。重機等は環境配慮・省エネ対応を選定し、省エネのため効率的な稼働と点検をしている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	燃費向上のために積載資材等軽減そする整理整頓実践日の指定と実行、建設機械等の集中集約的稼働をしている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	ISO14001の仕組みを通じて,有害化学物質を取り扱う際には、法制順守、記録、適正な使用を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した製品、工法を採用し生物多様性、環境保全に配慮している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	建設におけるリサイクルは、建設リサイクル法及び発注者の要求に従い、施工前にリサイクル計画を策定し、施工後報告をしている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	当社事業で水の使用は極めて微量であるが、建設において水質汚濁防止措置を行い、清掃等では雨水を利用するなど水資源の利用を抑制している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001の認証登録をし継続している（2002年～）。環境方針はホームページで公表し、全員参加で環境マネジメントシステムを維持している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	長野県産業廃棄物3R実践協定を結び、毎年県のホームページで実践計画書ならびに実施結果報告書を公開している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	個人住宅や集合住宅等の顧客に対し、太陽光発電のパネル設置や蓄電池提案をしている。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	個人住宅や集合住宅等の顧客に対し、国産材使用や環境配慮資材の利用提案をしている。また自然材を利用しているログホーム事業を展開している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止を含む行動規範を入社時の誓約書に明記し、社内で適宜研修をしている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為禁止を含む行動規範を入社時の誓約書に明記し、社内で適宜研修をしている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標知的財産権の利用する場合、契約前に要件等を確認している（建設では工法及び資材等確認、ホンカ事業では商標利用など）。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	お客様の個人情報保護方針（プライバシーポリシー）を定め公開している。また個人情報保護体制もあり、問い合わせ・開示・苦情等に適切に対応できる。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	受注時に発注者の資材仕様等が紛争鉱物でないことを確認している。また資材等の調達時でも同様に確認している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先や協力業者とは、業界での研修や対話を通じて人権侵害（例　外国人雇用等）や生物多様性等（ビオトープ研修等）について適宜確認しあい、情報交換を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	建設に関する安全確保のため、施工前に危険予知活動を行い、想定リスクに対する予防活動を実施している。また、災害事例等の共有・研究を安全大会等でしている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001の認証登録をし継続している（2001年～）。品質方針はホームページで公表し、全員参加で品質マネジメントシステムを維持している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	断熱性能に優れた無垢木材による家づくり(ログハウス構法)を積極に展開している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	建設事業を通じて、社会インフラ整備を行い地域住民の安全・防災の予防強化、交通利便性の向上、省エネ生活支援をして問題解決を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域住民・市・発注者との対話を通じて、当社の建設事業の影響や今後の期待を把握している。把握した期待やニーズは、社内で検討・研究している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	建設を通じて、地域貢献活動を考案しできる限り実践し、現場では表示や警告など工夫を実施している。【予定】今後はホームページで事例を公開する予定である。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	できる限り地元の資材使用や地元の協力会社と連携している。現場や事務所では地元の花や植物を飾っている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	ISO9001及び14001の仕組みを通じて、社是及び理念・事業目標等を公開・掲示している（2001年～）。ホームページにも公開し、協力会社等に周知している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ISO9001及び14001の仕組みを通じて、順守すべき法的義務を特定している。施工では現場代理人が執行し会長等が順守状況を再確認・指導している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	当社がSDGｓの目的にあっているか、達成のために促進しているか、社会・環境に影響がどうか、などを統括する担当を副社長とし任命している。ISOの組織で運営している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	協力会社・仕入れ先等外部関係者と社員とは、適宜及び定期的に当社への期待や改善要望等を対話している。また発注者等とは満足度調査等を通じ対話している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	建設における労働安全、環境配慮等のリスクアセスメントを適宜実施し、リスクの洗い出しによる評価結果を利用し低減・予防のための活動をしている（KY活動等）。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	当社の社会的責任は、安全・環境・品質を基軸としISO（環境及び品質）の仕組みを通じて確実に展開、労働安全衛生も同様にリスクマネジメントを利用して展開している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	ISO14001に基づき緊急事態対応の準備及びテスト・訓練をしている。【予定】100年企業を継続するために、災害発生時等を想定した事業継続計画を検討し策定する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	現在、後継者候補はいる。事業承継に関して税理士等外部専門家の意見を取り入れ、検討をすすめている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）